

平成26年12月期 第1四半期 決算補足説明資料

株式会社オウチーノ

2014年5月15日



会社名	株式会社オウチーノ（東証マザーズ 証券コード：6084）
事業内容	<ul style="list-style-type: none">● 住宅・不動産関連ポータル事業● インターネット広告代理事業● 暮らしに関する調査・研究（オウチーノ総研）
代表者	代表取締役社長兼CEO 井端 純一
設立	2003年4月
資本金	3億7,843万5千円（2014年3月末現在）
役職員数※	89名（2014年3月末現在） ※役員および従業員の総計
本社	東京都港区芝大門2-9-16 Daiwa芝大門ビル
支社	大阪市中央区、福岡市博多区、名古屋市中区
決算期	12月末日

当社は、住宅・不動産関連ポータル事業とインターネット広告代理事業の2つの事業から成り立っております。

◆ 住宅・不動産関連ポータル事業

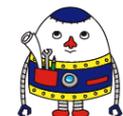
新築物件



新築 オウチーノ

マトリクス比較や住宅ローン試算でスマートに家探し！
サイト開設10年目の実績！新築物件専門サイト

中古物件



中古 オウチーノ

ニッポンの中古の流れを変える！
資産価値まで分かる日本初の中古物件専門サイト

リフォーム



リフォーム オウチーノ

最大9社の優良リフォーム会社に匿名・無料で相談！
安心リフォームの「達人」、紹介サイト

建築家



建築家 オウチーノ
デザイナー

注文住宅の設計、こだわりのリノベーション！
第一線の建築家に出会えるマッチングサイト

賃貸

賃貸 オウチーノ

63個のこだわり条件で、住みたい部屋がすぐ見つかる！
エンターテイメント性の高い賃貸専門サイト

◆ インターネット広告代理事業

DUAL BRAIN

グループのポータルサイト運営ノウハウを活かした
広告の取次および広告運用サービスを提供



- ①住宅・不動産関連ポータルサイト事業では、マンションデベロッパーや仲介不動産会社、リフォーム会社、工務店、建築家などクライアントの取り扱う住宅・不動産情報や会社情報等を「オウチーノ」に掲載することで広告掲載料等の収入を得ております。
- ②インターネット広告代理事業のデュアルブレインでは、不動産関連企業のほか様々な企業がクライアントとなり、広告の取次・運用サービス等によって収入を得ております。

第1四半期の売上高、利益は期初想定通りの進捗を達成。

■ 全社収支

(単位：百万円)

	平成26年12月期 第1四半期 (実績)	平成26年12月期 第2四半期累計 (予想)	進捗率	平成26年12月期 通期 (予想)	進捗率
売上高	364	875	41.60%	2,236	16.28%
売上原価	119	—	—	—	—
売上総利益	245	—	—	—	—
販管費	398	—	—	—	—
営業利益	△ 152	△ 89	—	385	—
当期純利益	△ 94	△ 60	—	232	—

住宅・不動産関連ポータル事業は、第1四半期に実施した 広告宣伝費の集中投下により赤字を計上。

■ セグメント別収支

(単位：百万円)

	住宅・不動産 関連ポータル事業	広告代理事業
セグメント売上高	288	76
セグメント利益	△ 155	2

- ・ 第1四半期は「O-uccino」ブランドの浸透を図るべく、TVコマーシャル等の広告宣伝費を集中的に投下いたしました。そのため、住宅・不動産関連ポータル事業では販管費が一時的に増加し、赤字計上しております。

第1四半期の主な取り組み①

TVコマーシャルを中心に様々なメディアへの広告投下。



TVコマーシャル《1月放映 オウチーノ 授業編》



TVコマーシャル《2月放映 オウチーノ カフェ編》



ツイステッカー交通広告



リアルイベント《ゲーテくんの名刺キャラバン》



インターネットディスプレイ広告



雑誌広告

第1四半期の主な取り組み②

ユニークな情報発信によるメディア注目度の向上。

オウチーノ総研※の調査レポートはNHKをはじめ民放や日経新聞、朝日新聞、Yahoo! など多数のメディアに取り上げられました。

★ オウチーノ総研が発信した調査レポートタイトル（一例）

四大都市別「高齢者の幸福度」調査

延べ39媒体に
掲載！

2013年、人気の高かった駅・沿線ランキング[賃貸編]

延べ37媒体に
掲載！

「子どもの食生活」に関する実態調査

延べ31媒体に
掲載！

「オウチーノ」の注目度 up !!

ユニークでトレンド性
のある情報発信



メディアへの露出度向上

※ オウチーノ総研：住まいに関するトレンドや実態調査に加え、多くの人に役立つ様々な情報を発信しております。

第1四半期の主な取り組み③

ホームインスペクション費用負担サービス※を開始。

**Point1 国策としての中古住宅・リフォーム市場の拡大**

新築中心の住宅市場から、中古住宅流通により循環利用されるストック型の住宅市場に転換し、2020年までに**市場規模を倍増（市場規模20兆円）**する

（国土交通省「中古住宅・リフォームトータルプラン」から抜粋）

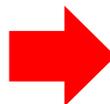
**Point2 市場活性化のためにはホームインスペクションの促進が必要**

安心して中古住宅を取得できるよう、地震への備えや、欠陥が隠されていないかなど、住宅のプロによる**ホームインスペクション（建物診断）**の普及が不可欠



O-uccino

中古住宅購入者が負担する
ホームインスペクション（建物診断）
費用を全額負担するサービス※を実施



サービスの啓蒙で、中古市場を活性化。
さらに、ユーザーへのベネフィット提供で、
自社サイトへの中古住宅購入者の囲い込み
を図る

※当社が運営するポータルサイト「オウチーノ」で中古住宅を検索し、購入後に「リフォーム・オウチーノ」を利用して
リフォームをした場合（詳しくはコチラをご覧ください ⇒ <http://corporate.o-uccino.jp/news/20140304.html>)

将来見通しに関する注意事項

この資料は、株式会社オウチーノ（以下、当社）の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。

本発表において提供される資料ならびに情報には、いわゆる「見通し情報」を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。

以上を踏まえ投資をおこなう際は投資家の皆様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。